

事業事前評価表
国際協力機構 民間連携事業部 海外投融資第一課

1. 基本情報

- (1) 国名：カザフスタン共和国（カザフスタン）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：カザフスタン全土
- (3) 案件名：中小零細事業者支援事業
- (4) 融資先名：Limited Liability Company «Microfinance Organization «KMF»
(KMF)
- (5) L/A 調印日：2024 年 2 月 19 日

2. 事業の背景と必要性

- (1) 当該国における民間セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け
- カザフスタン企業の内、99.9%が中小零細事業者（MSMEs）であり、カザフスタンの GDP に占める MSMEs の割合は 34%（2021 年）にのぼる（2021 年、ADB）。加えて就労人口の 44%（2022 年第 3 四半期）が MSMEs に所属しているという状況であり、カザフスタン経済の中で重要な役割を担っている。一方で、同国の MSMEs の潜在的な資金需要と実際の資金供給の差を示す資金ギャップは 423 億米ドルと大きく、MSMEs の成長の課題の一つとなっている（SME Finance Forum、2023 年）。また、同国の MSMEs のうち、女性が経営する MSMEs は金融へのアクセス不足等により全体のわずか 24%に留まっており、それら女性の MSMEs に対する資金ギャップは 55 億米ドル以上と推定されている（SME Finance Forum、2023 年）。カザフスタンの MSMEs の内、銀行貸付へのアクセスを有する企業は小規模企業で 12%、中規模企業で 28%と限られている（世界銀行、2019 年）。

カザフスタン政府は 2012 年に発表した「Kazakhstan 2050 Strategy」にて 2050 年までに世界でトップ 30 の先進国に入ることを目指すとし、経済の近代化・国際競争力強化に取り込んできた。中でも非石油部門の強化・拡大を図ることを重要課題の一つとして掲げ、国の経済をけん引する力として MSMEs 支援などを挙げている。また、2016 年に発表した「Concept of Family and Gender Policy until 2030」を基に、女性の労働参加促進や女性のリーダーシップの向上等によるジェンダー平等に取り組んでいる。

本事業は、KMF を通じて、女性事業者を含む MSMEs 向け融資を実施することにより、MSMEs の金融アクセス改善を図るものであり、当該セクターの課題やカザフスタン政府の方針に合致している。

- (2) 当該国における民間セクターに対する我が国及び JICA の協力方針と本事業の位置付け

2023 年 5 月 20 日、岸田総理大臣は G7 グローバル・インフラ投資パートナ

ートナーシップに関するサイドイベントにおいて、官民のインフラ投資を通じてパートナー国の持続可能な開発に貢献することを表明するとともに、気候変動に脆弱な国々への支援、食料安全保障、中小企業や女性への支援のために、JICA による合計 40 億米ドル規模の融資の枠を新たに設ける方針を示した。JICA はこれを踏まえ 2023 年 5 月 22 日に「金融包摂促進ファシリティ」を設置した。本事業はカザフスタンにおける女性事業者を含む MSMEs の金融アクセスを改善するものであり、「金融包摂促進ファシリティ」の目的に合致する。

我が国のカザフスタン共和国国別開発協力方針（2017 年）では「Kazakhstan 2050 Strategy」に基づき、産業の多角化による資源依存の経済からの脱却を目指し、その優先課題として、企業活動への支援、社会保障の改善等を掲げている。また、同国は地域間の経済格差などの問題を抱えており、同国別開発協力方針ではこれら問題への対応を強化し持続的成長を後押しするとしている。これまでに JICA は、個別専門家「ビジネス振興アドバイザー」の派遣やカザフスタン日本人材開発センターの活動への支援、技術協力「一村一品運動を通じた中央アジアにおける地場産業振興プロジェクト」の実施等を通じて中小企業振興に取り組んでいる。本事業は、カザフスタン最大のマイクロファイナンス機関である KMF に対して欧州復興開発銀行（EBRD）と協調して融資を行うことで KMF の資金調達の拡充を図り、以ってカザフスタンにおける MSMEs の金融アクセスを改善するものであり、日本国政府の方針に合致している。

加えて、本事業は、女性事業者を含む MSMEs の金融アクセス改善を通じて同国の持続的な経済成長及び地域間格差是正に寄与するものであることから SDGs ゴール 5（ジェンダー平等）、ゴール 8（金融サービスへのアクセス改善）、ゴール 9（小規模企業の金融アクセス拡大による産業化促進）、及びゴール 17（パートナーシップ）に貢献すると考えられる。

3. 事業概要

（1）事業概要

① 事業の目的

本事業は、カザフスタンにおいて、KMF への融資を行うことにより、同国における女性事業者を含む MSMEs の金融アクセスの改善を図り、もって同国の MSMEs 振興及び持続的な経済成長に寄与するもの。

② 事業内容

KMF への融資を通じて、女性事業者を含む MSMEs に対する貸付等の金融アクセス改善を促進する。JICA 融資金のうち、最低でも 30%は女性が経営する MSMEs 向け融資に活用される予定。

③ 本事業の受益者（ターゲットグループ）

カザフスタンにおける女性事業者を含む MSMEs。

- (2) 総事業費：約 85 百万米ドル（内、JICA 融資額 50 百万米ドル）
- (3) 事業実施スケジュール（協力期間）：
2024 年 2 月～2027 年 2 月
- (4) 事業実施体制
 - 1) 借入人：KMF
 - 2) 事業実施機関：KMF
- (5) 他事業、他援助機関等との連携・役割分担
 - 1) 我が国の援助活動：特に無し。
 - 2) 他援助機関等との援助活動：EBRD との協調融資。
- (6) 環境社会配慮
 - ① カテゴリ分類：C
 - ② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2022 年 1 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。
- (7) 横断的事項：特になし
- (8) ジェンダー分類：
【ジェンダー案件】■GI (S) ジェンダー活動統合案件
＜分類理由＞カザフスタンでは女性が経営する MSMEs は全体の 24%に止まっており、資金ギャップもあることから、本事業では女性事業者への融資額を 30%以上とする計画であるため。なお、本事業は、2X Challenge（女性のためのファイナンス）の直接基準（執行役員 6 人中 5 人が女性（2022 年末時点））と間接基準（当該債務者への融資額の 30%以上が女性経営の MSMEs 向け）で 2X 基準を満たすため、2X Challenge 認定の申請予定である。
- (9) その他特記事項：特になし

4. 事業効果

(1) 定量的効果

指標名	基準値 (2022 年実績)	目標値 (2025 年) 【L/A 調印より 1 年 10 か月後】
MSMEs 向け融資残高 (百万テンゲ)	206,655	326,976
MSMEs 借入企業数	257,297	315,960
JICA 融資金を原資とする 2X チャレンジ水準を上回る MSMEs に対する借入人の融資実行額	0	15 百万米ドル (JICA 融資金の 30%)

(2) 定性的効果

MSMEs の金融アクセス改善。MSMEs 振興及び雇用維持・拡大。

5. 前提条件・外部条件

特になし

6. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

エジプト・アラブ共和国向け円借款「零細企業支援事業」(評価年度 2016 年)の事後評価等において、零細・小企業向け融資を支援する類似事業の案件形成時には、JICA は実施機関及び仲介融資機関の融資実施体制を把握することが重要であるとの教訓を得ている。本事業では、審査を通じて KMF の審査・リスク管理・案件監理能力について精査し、特段の懸念がないことが確認した。

7. 評価結果

本事業は、当国の開発課題、開発政策、並びに、我が国及び JICA の協力方針・分析に合致し、KMF の資金調達拡充支援を通じて、同国における女性事業者を含む MSMEs の金融アクセス改善に資するものであり、SDGs ゴール 5 (ジェンダー平等)、ゴール 8 (金融サービスへのアクセス改善)、9 (小規模企業の金融アクセス拡大による産業化促進)、及び 17 (パートナーシップ) に貢献すると考えられることから、海外投融資を通じた支援の必要性は高い。

8. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる指標

4. のとおり。

(2) 今後の評価スケジュール (予定)

L/A 調印 2 年後めどに事後評価実施。

以上